

令和元年度 第3回田原市まち・ひと・しごと創生連携会議 委員意見要旨 令和2年3月2日(月)開催

(1) 田原市まち・ひと・しごと創生関連事業の効果検証について

1 雇用の創出・就労促進について

(1-6道の駅の高質化)

- ・田原めっくんはうすについてはリニューアルが完了し利用者が増加傾向にあると思われるが、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響がありK P I の目標達成が困難となった。

(1-7サンテパークたはらの新たな魅力づくり)

- ・本年度はイベント時や土日・祝日の悪天候が影響しK P I の目標達成が困難となった。

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現について

(3-2医療体制の充実)

- ・タイトルを医療体制の“充実”とした以上、第2期田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の編纂にあたっては目標を“現状維持”とせず充実に向けた具体値にすると良い。

(2) 改訂版田原市人口ビジョン（案）及び第2期田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

■改訂版田原市人口ビジョン（案）

3 田原市の人口動向分析について

(3-3人口動態(自然動態・社会動態)の推移)

- ・田原市は全国平均よりも合計特殊出生率が高いので、その理由を分析すればアピールすべき田原市の良さが発見できると考える。

■（第2期田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案））

1 雇用の創出・就労促進について

(1-6道の駅の魅力向上)

- ・K P I が3つの駅の利用者合計となっているが、各駅の利用者増減の理由を調査するため集計を個別にした方が良い。

(1-7サンテパークたはらの新たな魅力づくり)

- ・サンテパークたはらについては体験教室の充実や予約なしで利用できる仕組み、近隣施設との連携を行い目標の利用者数53万人を目指す。
- ・特に花育ができる点や農業研修ができる点をアピールし、利用者を増やしたい。
- ・サンテパークたはらの利用者は減少傾向にあるので対策を事業課と調整してほしい。

(3) 第2期田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和2年度アクションプラン集(案)について

- ・農業産出額目標が890億円とあるがTPPなど国の施策により市場競争が激化することで国内の生産価格は下がると考えられる。農産物の売価が下がる中で生産性を上げる必要があるので目標の890億円が高い水準にあると考える。一度担当課と目標について調整検討してほしい。
- ・生産性を高めるために外国人労働力に頼らなくてはならないが、新型コロナウイルスの影響で受け入れが困難になっている。大きな社会構造変化が起きているので、KPIの目標を定めるにあたり委員会内できちんと認識を共有したい。

1 雇用の創出・就労促進について

(1-3 農業後継者・新規就農者の確保・育成と労働力の確保)

- ・田原市で農業をしたい人が増える仕掛けづくりを検討すると良い。例えば定年後に就農したり会社員が趣味として取組むなど様々なケースに対応できると理想的である。
- ・例えば臨海企業従事者等の中で定年を迎え出身地へ戻るつもりの方について、田原市における生きがいにつながる趣味等があれば継続して田原市に住んでいただける。そのきっかけの一つの例として農業が活かされたらと思う。農地を借りるに当たり10a以下であれば移住者の方も手がつけやすい。
- ・農業で市の活性化ができれば市の特性を活かせるので是非検討してほしい。

3 若い世代の結婚・出産・子育てについて

(3-1 結婚・出産支援)

- ・婚活イベントは地域毎に行っても人数が集まらないので今後は市全体、東三河で連携して取り組んでいく。

4 地域の魅力・住み良さの向上について

(4-2 公共交通ネットワーク確保・維持)

- ・公共交通利用者については路線バス等が含まれない形で表現することを検討してほしい。
- ・コミュニティバスについては、本来のコミュニティの形成に寄与すべきであるが、その視点で検討されていないと思う。そこで人と会う、話す、乗って楽しいバスであれば人は乗る。今の法では運転手も運転中は会話ができない。もともと、コミュニティバスとは何のために運転しているか問い直し、法の運用制度を変える、市の運用を検討することで乗車数を増やすことができると思う。